

先日ご協力いただきました保護者アンケートに、質問や提言などがございました。貴重なご意見に感謝するとともに、ご質問については回答いたします。

Q. ソーラーだけでなくもっとブロードにも進学を希望しているものに対して力をいれて欲しいと思います。一部の先生は、絶望的な意見をいって生徒の意欲をなくすようなことがあるようです。高校生なのだからおだてることはないにしても、親としては神港に入っても進学は有望だと思わせたいのにあきらめるようなことを言われる先生がいるようです。

A. 貴重なご意見をいただきありがとうございます。早速職員全体には、保護者アンケートについて結果とともに、ご意見を伝えました。教員の言い方が不適切であるならば、適切にするよう再度指導をしていきます。お子さまには、改めて目標に向かって努力することの大切さを保護者の方から、お話をさせていただけますようご協力をお願いいたします。

Q. 授業のやり方で一方的に進めて、何を言っているのかわからない先生がいてクラスのみんなその授業がおもしろくないといっているようです。生徒の意見を聞いてみてください。

A. 毎年、保護者の方からのご意見をいただき、次年度のプランの中で検討しています。今回のご意見も改めて教職員とともに確認をしていきます。教師にとっては、授業の工夫は職業上常に意識しなければならないことです。

Q. わかりにくい教科の授業は先生が大事なところにアンダーラインとか入れてくれないから分かりにくいと言っています。質問をすれば教えてくれるとは言っています。

A. ご意見をいただきありがとうございます。授業の指導方法についても、いろいろなご意見をいただくことは我々にとってもありがたいことです。ご指摘いただいたアンダーラインを引かせるという指導方法もあります。このご質問だけではわかりませんが、あえて、ラインを引くというようなことはせずに、その後生徒からの反応を待つという場合もあるかもしれません。先ほどのご質問にも回答させていただきましたが、授業改善は我々の本務ですので、このご指摘も職員にしております。

Q. 日々の学校生活を楽しく送れているようで嬉しく思います。子どもの話から授業については、先生によってかなり差があるように感じます。わからないところを質問したらいいに教えて下さる先生も多いようですが、一部には生徒が理解していようがまいが、おかまいなしで授業を進められる先生もいらっしゃるようです。「どうせ聞いても・・・」とあきらめてしまうことがないような対応をしていただけたらと願います。これからもきびしくご指導いただきますようお願いいたします。

A. 貴重なご意見をいただき感謝申し上げます。授業の指導方法については、他にも記載していますように、いろいろとご指摘をいただいております。ご指摘いただいた内容については、職員全員にお伝えします。文面だけでは、誤解をまねくかもしれませんが、スピードを進めていく中で、理解していく努力、気力をもとめている場合もあります。

ただ、いまのお子さんたちはゆとり教育世代ですので、手取り足取りの指導を期待されているのかも知れません。このようなことも踏まえながら、あきらめてしまうようなことがないよう学習指導については、これからも努めてまいります。保護者の方々とともにたくましく成長をさせていきたいと思っておりますので、どうかよろしく願います。

Q. 国立大学を目指すようなプログラムがないのが残念です。

A. 本校では、1年生から文系特別コースを設定しております。ご指摘いただいたような国立大学のコース設定はしておりませんが、選択科目を取得することで国立大学を受験していくことは可能です。特に目的としている学校があれば、ぜひ担任にその旨を伝えてください。できるだけのアドバイス、個別対応も考えていきたいと思っております。

Q. 子どもたちの成長に役立つことであればできる限り協力させていただきたいと思っています。学校での様子をもっと知りたいです。

A. 学校のホームページ、各学年通信、指導部だより、PTA 会報などを通じて、できるだけ最新の情報をお知らせしていきたいと考えております。何かお気になることがありましたら、ご遠慮なく、いつでもご連絡をいただけたら嬉しく思います。今後とも、よろしく願います。

Q. いつもお世話になっております。子どもの学校生活は大変充実しており、先生方には進学に際して大変お世話になり、何度も自己アピール文、論文を見てくださり一緒に考えていただきまして大変感謝しております。ありがとうございました。

A. 大変恐縮するようなご意見をいただき感謝申し上げます。進学された後も、何かご相談があればいつでも母校にもどってきていただければと思っております。

今後とも、何かご不審なことがあれば、ご連絡をいただければと思っております。保護者の方のご協力をいただきながら、「高校生」として育てていきたいと思っております。